

2018年3月18日 主日礼拝 (洗礼式)

プレイズ

奏 楽

賛 美 聖歌604番「数えよ主の恵み」

(主を喜ぶことは)(主イエスの十字架の血で)

ヤベツの祈り

聖 書 ①ヨハネによる福音書 15章12～17節(p.167)

②ヨハネの第三の手紙 2節(p.383)

音 楽 お琴アンサンブル(宮田姉・浜田姉・小泉姉)

証 詞 ①朝倉みどり姉(ルツ会)

メッセージ ①「最後の説教(シリーズ・3) 倉知契副牧師

②「いやしと解放」レイモンド・ムーイ先生

賛 美 「注ぎたまえ主よ」(献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「愛する者よ。あなたのたましいがいつも恵まれていると同じく、
あなたがすべてのことに恵まれ、
またすこやかであるようにと、わたしは祈っている。」
(目ヨハネ二)

【町田ニュース】

- ・ 先週は「**FUKUSHIMAいのちの水**」(代表坪井永人師)に、9、243円が捧げられました。
- ・ 本日午後、**弟子学校**があります。
- ・ 今週も祈禱会を大切に(Y)。水曜夜は佐々木伝道師、木曜朝は石橋伝道師、金曜夜は大野 M 伝道師。
- ・ 土曜、午後4時半から**祈り会**。主の臨在溢れる祈り会です。
- ・ 来週は**弟子学校**があります(弟子の喜び7課・暗唱聖句 A7～A9)。
- ・ 次回のオープン礼拝は4月1日「**春のイースター特別礼拝**」です。
- ・ 今週も宿題に従って、**聖書通読・Q.T.**しましょう。



畑の中の宝物

卒業・卒園シーズンです。娘の福音はおととい「鶴川シオン幼稚園」を卒園しました。誕生前から示して下さい下さった皆様の暖かな愛とお祈りを感謝します。

シオン幼稚園は、洞爺丸事故で救命具を日本の若者に手渡し、代わりに召されたアルフレッド・ストーン宣教師によって建てられた農村伝道神学校が母体で生まれた幼稚園。私の出身保育園も近所の日本キリスト教団・鶴川教会・鶴川北教会も同系列で、この地域にキリストを証し続けています。

当日、35名の卒園生の中、福音は唯一、和服姿で参加しました。進学するICAはアメリカ流なので和服を着る機会がないだろうとの母親心からでした。教会員の涼子姉が明朝から自宅に来、美しく着付けをして下さいました。

シオン幼稚園は、本当に素敵な幼稚園でした。時代の流れに押し流されず、大切なものを守り続けています。すべての中心に神様を置き、毎週水曜日には礼拝があり、みことばと月ごとの暗唱聖句、たくさん子ども讃美歌、お祈りがあります。本田園長先生は「生まれる前から神様に愛されてきたことを覚えておいてください。聖書の言葉を人生のともしびとしてください」と語られました。

人との関りが温かい幼稚園でした。先生がこうあるべきというものを押し付けるのではなく、一人一人の成長や思いに耳を傾け寄り添って下さいます。お母さんが不安になっても、大丈夫と信じて待つことを教えて下さいました。問題が起こると、当事者を呼び寄せ、お互いの思いを語り合わせることで、人は自分と違う思いや立場を持っていることを理解し、問題解決できるように助けてくれました。縦割りのクラス編成で、上の子が下の子の世話をしたりと兄弟のように仲良くなりました。早期教育ではなく、心の根がしっかり育つように見守って下さいました。障害者と共に育つ統合保育、また親と先生が協力する幼稚園でした。

自然と親しむ幼稚園でした。週2回、神学校の山に園バスで行き一日を過ごしました。四季折々の自然の変化を体いっぱいを感じながら、芋を植え、掘っては料理して食べたり、蜜蝋をつつたり、藍の花を育てて染めた毛糸で編み物したり。行くのを嫌がっていた娘も、年長になると「卒園したくない」という程、楽しめるようになりました。4月からプレスクール、9月からICA入学予定です。

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:ルカ1章～4章 Bコース:申命記31章～ヨシュア記13章